

様式第 1 9

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目「RNA測定による膵癌血液診断法の実用化研究」

機関名 国立大学法人金沢大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
消化器癌における末梢血液細胞の遺伝子発現変化に反映される生体のがん反応解析と癌診断法開発、口頭	酒井佳夫、金子周一、和田隆志	第61回日本臨床検査医学会学術集会、福岡国際会議場、福岡	2014年11月25日	国内
切除可能膵頭部癌に対するリンパ行性進展・局所進展からみた治療アルゴリズム、口頭（シンポジウム）	北川裕久、田島秀浩、中川原寿俊、牧野 勇、宮下知治、寺川裕史、正司政寿、中沼伸一、林 泰寛、高村博之、太田哲生	第45回日本膵臓学会大会、北九州市	2014年7月11日	国内
BillIN と PanIN の分子病理学的異常に関する比較検討、ポスター発表	佐藤保則、原田憲一、佐々木素子、中沼安二	第50回日本肝臓学会総会、東京	2014年5月29日 ～30日	国内
血小板の制御による膵癌転移治療の新戦略～癌転移に対する血小板の役割とその制御～、口頭（シンポジウム）	宮下知治、田島秀浩、中沼伸一、酒井清祥、木下 淳、牧野 勇、中村慶史、林 泰寛、尾山勝信、中川原寿俊、高村博之、二宮 致、北川裕久、伏田幸夫、太田哲生	第23回日本がん転移学会学術集会・総会、金沢市	2014年7月	国内
当科におけるUICC規約膵体部癌に対する治療成績、口頭（シンポジウム）	田島秀浩、北川裕久、太田哲生	第12回日本消化器外科学会大会、神戸市	2014年10月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 (学会誌・雑誌等 名)	発表した時期	国内・外の別
Histological characterization of biliary intraepithelial neoplasia with respect to pancreatic intraepithelial neoplasia.	Sato Y, Harada K, Sasaki M, Nakanuma Y.	International Journal of Hepatology Volume 2014 (2014), Article ID 678260, 7 pages <a href="http://dx.doi.org/10.1155/2014/678260">http://dx.doi.org/10.1155/2014/678260</a>	April 10, 2014.	国外
En bloc vascular resection for the treatment of borderline resectable pancreatic head carcinoma.	Kitagawa H, Tajima H, Nakagawara H, Makino I, Miyashita T, Shoji M, Nakanuma S, Hayashi H, Takamura H, Ohta T.	Mol Clin Oncol. 2014 May;2(3):369-374. Epub 2014 Feb 27.	May, 2014.	国外
A modification of radical antegrade modular pancreatosplenectomy for adenocarcinoma of the left pancreas: Significance of En Bloc resection including the anterior renal fascia.	Kitagawa H, Tajima H, Nakagawara H, Makino I, Miyashita T, terakawa H, Nakanuma S, Hayashi H, Takamura H, Ohta T.	World J Surg. 2014 Sep;38(9):2448-54. doi: 10.1007/s00268-014-2572-5.	Sep., 2014	国外